

質問に対する回答について

工事名）東北自動車道 白石中央スマート IC工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	設計関係図書 設計図（函渠工）図面番号 111/134 白石 1 (A-2 STA. 2 + 77.479) C-Bx- 5.60-4.50-21.85 R84° 20' 一般図 (2) の数量表につきまして、図面番号 115/134 の横断図より算出すると、構造 物掘削は 58.7m3、埋戻しは 19.4m3 と なり数量が一致しません。ご確認くだ さい。	構造物掘削 普通部及び埋戻し、構造物 裏込め工の数量について、正しくは以下 のとおりとなります。 構造物掘削 普通部 58.7m3 埋戻し 19.4m3 構造物裏込め工 裏込め工B 2102.1m3 交付図書の一部に誤りがありましたので 後日訂正いたします。

2	<p>設計関係図書</p> <p>設計図（管渠工）図面番号 11/12</p> <p>本線 STA. 96+31. 360 C-P(PC) I ϕ 1. 00 一般図(1)につきまして、断面図により算出すると構造物掘削の埋戻し数量は 19. 7m³ となり、同図面に記載の数量表に記載の構造物掘削の数量と一致しません。貸与資料 03 数量計算書では 19. 6m³ となっておりこちらも一致しておりません。ご確認ください。</p>	<p>設計図 管渠工 (11/12) 本線</p> <p>STA. 96+31. 360 C-P(PC) I ϕ 1. 00 一般図(1)の数量表における構造物掘削 埋戻しの数量について、正しくは 19. 7m³ となります。</p> <p>また、下記の箇所の構造物裏込め工 裏込め工Bの数量について、正しくは以下のとおりとなります。</p> <p>設計図 管渠工 (5/12) A-1</p> <p>STA. 1+12. 000 C-P(Cor)-1R- ϕ 1. 00</p> <p>t=2. 0 (A) 一般図(1)の数量表における構造物裏込め工 裏込め工Bの数量について、正しくは 172. 8m³ となります。</p> <p>設計図 管渠工 (7/12) C-1</p> <p>STA. 2+32. 400 C-P(Cor)-1R- ϕ 1. 00</p> <p>t=2. 0, 2. 7 (A) 一般図の数量表における構造物裏込め工 裏込め工Bの数量について、正しくは 168. 5m³ となります。</p> <p>設計図 管渠工 (8/12) C-1</p> <p>STA. 2+43. 000 C-P(Cor)-1R- ϕ 1. 00</p> <p>t=2. 0, 2. 7 (A) 一般図の数量表における構造物裏込め工 裏込め工Bの数量について、正しくは 131. 2m³ となります。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
3	<p>設計関係図書 特記仕様書 P14</p> <p>工事用道路に関しまして、土運搬に使用する標準的な 10t ダンプトラックの車幅を考慮すると、市道深沢前線の幅員 2. 5m では通行が難しいと考えられます。工事用道路の路線変更や整備の予定はございますでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>工事用道路 市道深沢前線には、敷鉄板 (3. 0m × 156. 0m = 468. 0 m²、5ヶ月) を整備し、幅員3. 0mを確保する計画となります。費用については、割掛項目 準備工事費 工事用道路費に計上するとお考えください。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>

4	<p>設計関係図書 数量明細表 番号 113, 114 18-(3) 簡易舗装工につき まして、「7 雜工 4,913.5m²」は、参考 図 17/39 迂回道路 266.4m² と参考図 37/39 機能補償道路の面積の合計かを ご教示ください。</p>	<p>簡易舗装工の 7 雜工の数量は、設計図 土工 (7/90~10/90) 平面図 (1) ~ (4) に示す「付替側道」及び「管理用 道路 (C-1ランプ STA. 2+80付近右側)」 の面積の合計となります。また、簡易舗 装工の 7 雜工の数量 (4913.5m²) につ いて、正しくは3926.1m²となります。 図面における「管理用道路 (C-1ランプ STA. 2+80付近右側)」の表示漏れ、簡易 舗装工の図面が不足、数量に誤りがあり ましたので、後日訂正いたします。</p>
5	<p>設計関係図書 金抜設計書 142 施工ヤード整備工 ヤード整備 A について、工場用機械分解組立費が割 掛けされていませんが、20t 以上の重機は どこに割掛けされているかご教示くだ さい。</p>	<p>施工ヤード整備工 ヤード整備 A に関す る工事用機械分解組立費は、割掛項目 共通仮設費 工事用機械分解組立費 A で 計上するとお考えください。</p>